

歯科衛生士研修会

★日本歯科衛生士会専門研修（基本研修）に単位申請予定
（共催：公益社団法人東京都歯科衛生士会）

受講料
無料



歯科衛生士

対象

東京都内在勤または在住の歯科衛生士

第1回

① 「先天異常症候群の理解」

障害者歯科には、さまざまな先天異常症候群（染色体異常症、遺伝子病、原因がまだ明らかでない疾患など）の方が来院することがあります。歯科医療従事者が知っておきたい先天異常症候群の基礎知識や家族支援などについて学びます。

大橋 博文（埼玉県立小児医療センター 遺伝科 部長）

② 「ダウン症候群に対する口腔の健康支援」

ダウン症候群は地域の歯科診療所でも接する機会が多い疾患です。ダウン症候群の口腔の健康を守るためには、早期からの予防管理が重要となります。本研修では、ダウン症候群の口腔内の特徴や、口腔の健康支援をどのように進めていくかを学びます。

岩沼 智美（東京都立心身障害者口腔保健センター 歯科衛生士主査）

第2回

① 「フッ化物を利用したう蝕予防～歯科臨床におけるフッ化物局所応用～」

う蝕予防においてフッ化物応用は、乳幼児期から高齢期に至るすべてのライフステージで不可欠といえます。予防の観点から、フッ化物洗口の指導やエナメル質初期う蝕に対するフッ化物歯面塗布など、フッ化物応用の具体的な実施方法とそのう蝕予防効果について学びます。

眞木 吉信（東京歯科大学 衛生学講座 教授）

② 「歯周病フリーの実現に向けた歯科衛生士業務」

歯科は、治療を追いつづける業務から、その予防、健康維持促進へと変化してきています。本研修では、歯周疾患をテーマに、歯周病とリスク評価、良質な歯周管理など、限られた診療時間内で実行可能な方法を考えていきます。

薄井 由枝（東京医科歯科大学大学院 高齢者歯科学分野 非常勤講師）

第3回

① 「高齢多死時代に向けた緩和ケア～死から生といのちを考える～」

超高齢社会に突入している我が国では、病院や施設、在宅訪問診療などの歯科医療現場において緩和ケアに関わる機会が増加しています。医療従事者として、患者の尊いいのちとどう向き合えば良いのか、全人的ケアとはどうあるべきなのかなど、死を通して生を考えます。

高宮 有介（昭和大学 医学部 医学教育講座 講師）

② 「特別養護老人ホームにおける口腔ケア～他職種連携の取り組み～」

要介護高齢者の口腔の健康を守るためには、個々の機能や器質に合わせた口腔ケアの実践や他職種との連携が欠かせません。本研修では、要介護高齢者に対する口腔ケアの進め方や他職種連携の取り組みなど、特別養護老人ホームにおける歯科衛生士の役割について学びます。

猪野 貞子（巻歯科医院、特別養護老人ホーム・湘南ベルサイド 歯科衛生士）

第1回 2018年

7月1日(日)

① 10:00～11:30

② 12:30～14:00

第2回 2018年

8月5日(日)

① 10:00～11:30

② 12:30～14:00

第3回 2019年

1月27日(日)

① 10:00～11:30

② 12:30～14:00

プログラム

日時

会場

申込方法

東京都立心身障害者口腔保健センター

8階研修室

東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ8・9階（事務棟）

○JR利用の場合

「飯田橋」駅下車 西口改札 徒歩4分

○地下鉄利用の場合（東京メトロ東西線、有楽町線、南北線、都営大江戸線）

「飯田橋」駅下車 B2b出口（セントラルプラザ1階ロビー直結）



案内地図



FAX申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたは、

電話（平日9時～17時）にてお申込みください。

定員：各回 40名 ※定員になり次第受付を終了致します。



お申込・お問合せ先

東京都立心身障害者口腔保健センター 研修担当

電話 03-3235-1141 FAX 03-3235-1144

URL <http://www.tokyo-ohc.org/>

★詳細はホームページをご覧ください。



ホームページへ